

令和 4 年 9 月実施
獨協医科大学医学部教育における成果に関するアンケート
(就職先【臨床研修医】) 報告書
〈要約版〉

令和 4 年 10 月 28 日

獨協医科大学教学 IR センター
医学教育点検推進室

【まえがき】

獨協医科大学では、「学問を通じての人間形成」を建学の精神のもと、①人間性豊かな医師及び看護職者の育成、②能力の啓発に重点を置く教育方針、③地域社会の医療センターとしての役割の遂行、④国際的交流に基づく医学・看護学研究という4つの建学の理念をたて教育活動を行っています。医学部では、「患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される医師の育成」という教育の理念のもと、教育目標および到達目標を掲げ、アドミッション・ポリシーに従い入学者を決定し、ディプロマ・ポリシーに示された学修成果を学生が達成することを目的とし、綿密なカリキュラム・ポリシーを構築し実践している。そして、本学所定の科目を履修し卒業に必要な単位を修得したうえで、総合試験、共用試験および卒業試験に合格し、医学部の理念に合致し、卒業後に活躍できる資質を有すると判断されるものに卒業を許可しています。

卒業生が就職し一定期間経過した時の本学の教育を振り返り評価した調査を実施したことはありません。

本調査により、獨協医科大学医学部の卒業生が卒後において、大学教育における習得度や達成度、教育全般などに対しどのような現状であるか、大学教育の効果などを明らかにし、本学の教育を再点検し、学生生活支援や教学改善につながることは我々にとって望外の喜びです。

最後に本調査に対してご回答頂きました卒業生のみなさま、アンケート調査に対してご調整頂きました学務部学生課のみなさま、アンケート集計を手伝っていただいた教学 IR センター事務のみなさまに感謝いたします。

2022 年 10 月 28 日

獨協医科大学教学 IR センター
医 学 教 育 点 検 推 進 室

【目次】

1. 基本事項	1
2. 調査対象者と回収率	2
3. 調査結果	
I. あなた自身について	
問. あなたのお名前をフルネームでご入力ください。	3
II. 現在の勤務先について	
問. あなたは、現在の職業に満足していますか	3
問. あなたは、現在の職場に満足していますか	3
問. 前問で「あまり満足していない」「満足していない」を選択した理由	3
III. 本学の教育およびカリキュラムについて	
問. 1年生で学修した一般教養科目は、どのくらい役立っていますか	4
問. 2・3年生で学修した基礎医学科目は、どのくらい役立っていますか	4
問. 3・4年生で学修した臨床医学科目は、どのくらい役立っていますか	4
問. 5・6年生で学修した臨床実習（CC、ACC）は、どのくらい役立っていますか	5
問. 全体として本学のカリキュラムは役に立っていますか	5
問. 大学での講義で最も役に立っているもの	5
問. 獨協医科大学で学修したことについて満足していますか	5
問. 下記の項目について、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか	6
問. 下記のディプロマ・ポリシーについて、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか	7
IV. あなたの学生生活について	
問. あなたは、6年間の学生生活は充実していましたか。	10
問. 獨協医科大学の学生生活支援について最も当てはまるもの	10
付録（質問紙）	

1. 基本事項

1) 調査対象

令和3年度獨協医科大学医学部卒業生124名

2) 調査期間

令和4年9月 7日調査票送付

令和4年9月26日調査票回収締め切り

3) 調査方法

記名式でのアンケートとし、所属事業所より配布された所定の調査票を元に、WEBにて回答する。

4) 実施母体

教学IRセンター医学教育点検評価室

5) 結果の公表

本報告書での報告および教学IRセンターホームページでの公開など

2. 調査対象者と回収率

1) 調査対象者

令和3年度獨協医科大学医学部卒業生 124名

2) 有効回答数

46名

3) 有効回答率

37.1%

3. 調査結果

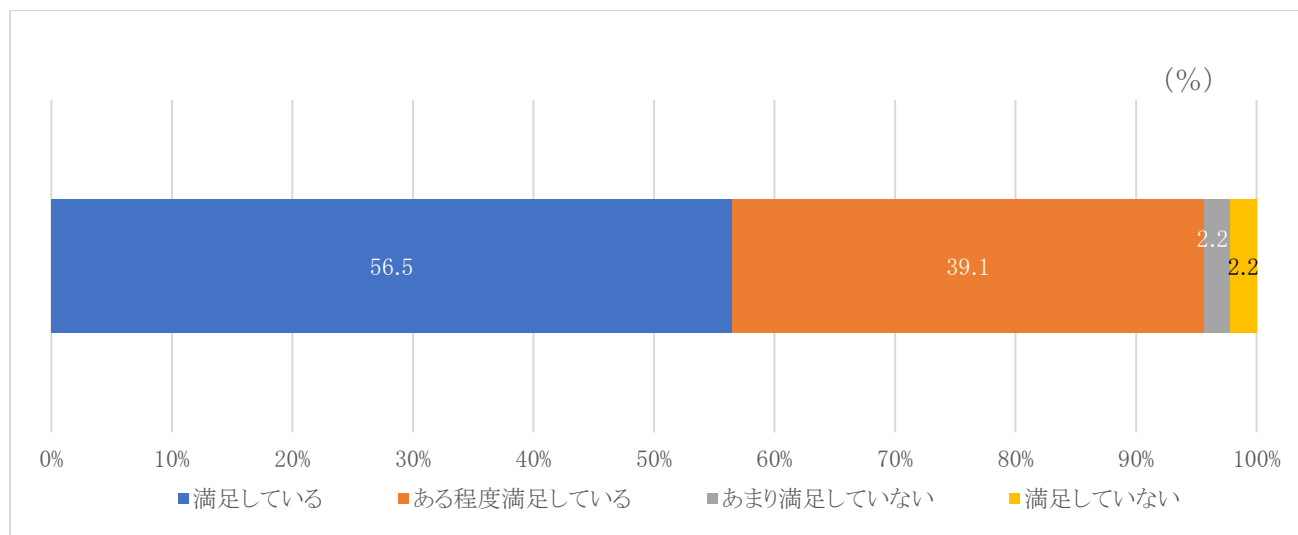
I. あなた自身についてお尋ねします。

問. あなたのお名前をフルネームでご入力ください。

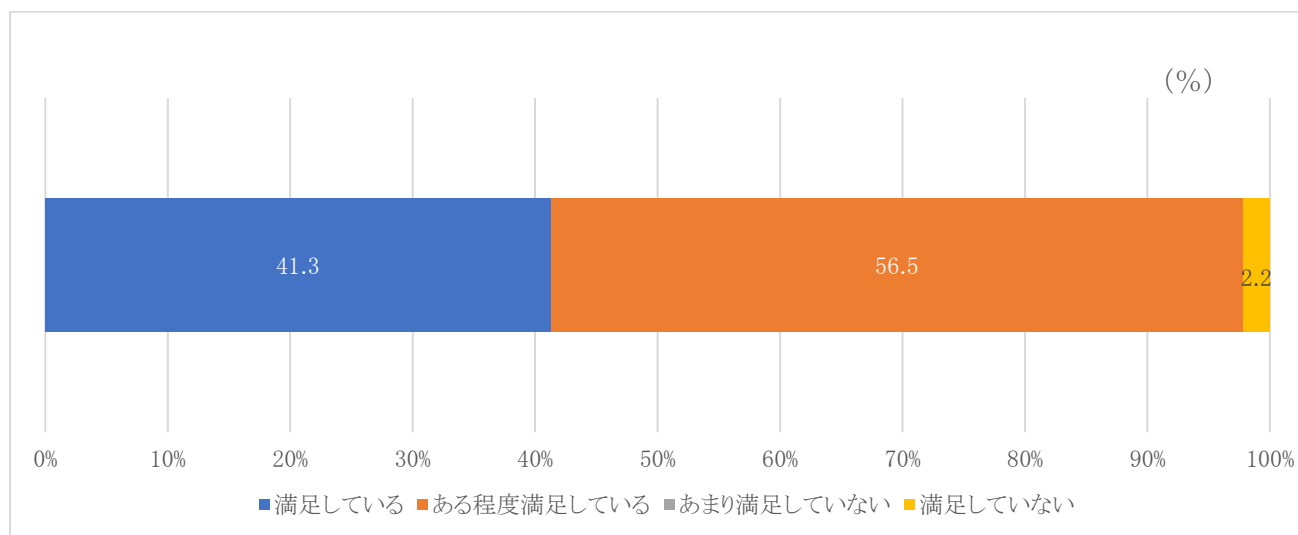
省 略

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問. あなたは、現在の職業に満足していますか。

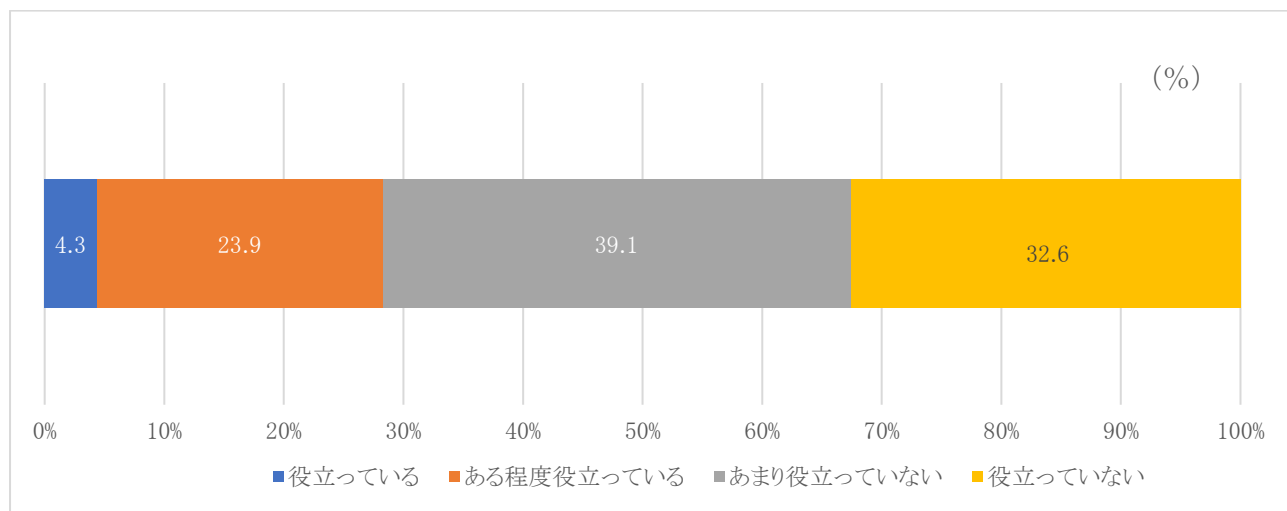


問. あなたは、現在の職場に満足していますか。

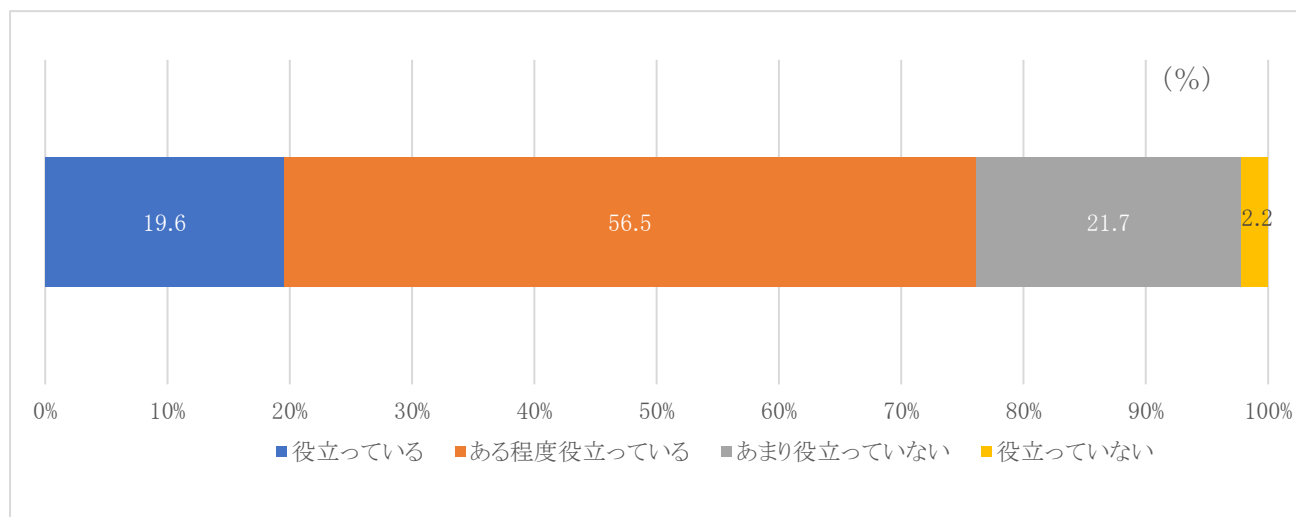


III. 本学の教育およびカリキュラムについて質問します。

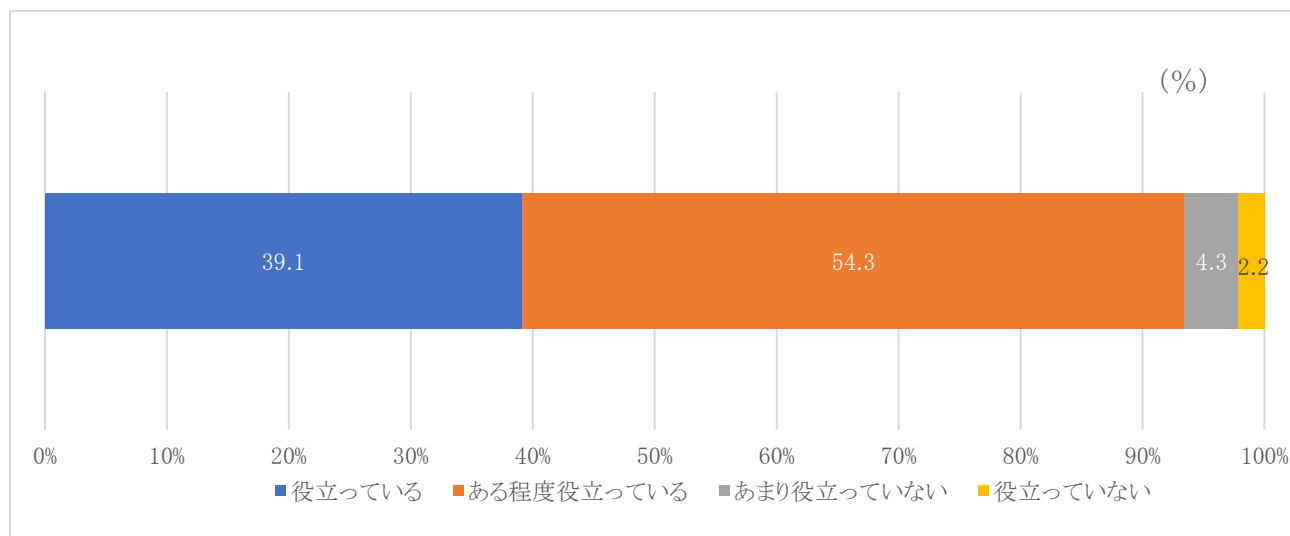
問. 1年生で学修した一般教養科目は、どのくらい役立っていますか。



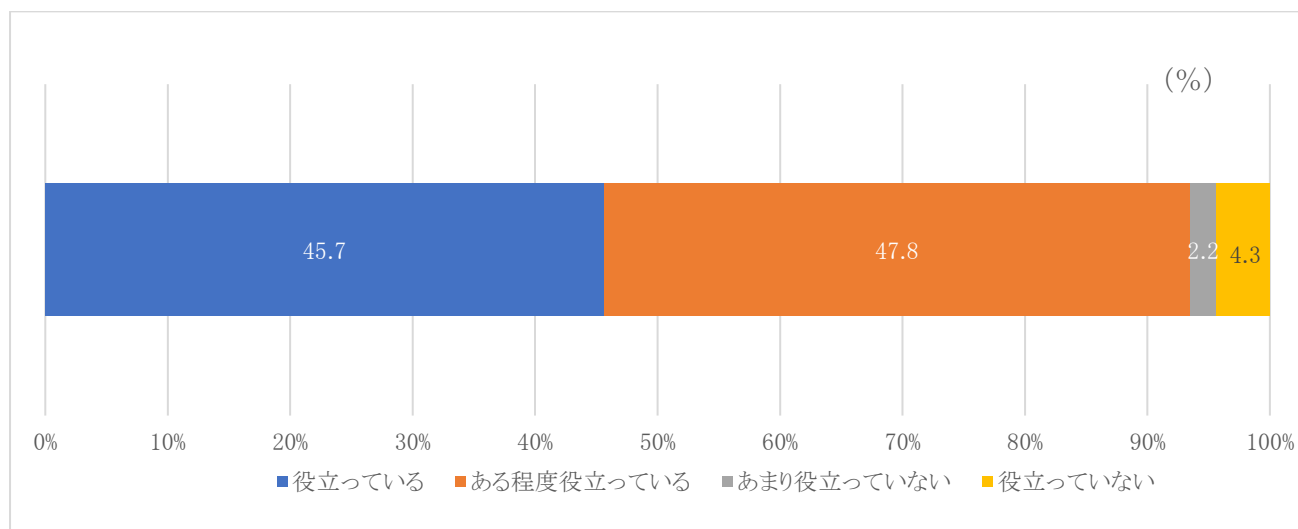
問. 2・3年生で学修した基礎医学科目は、どのくらい役立っていますか。



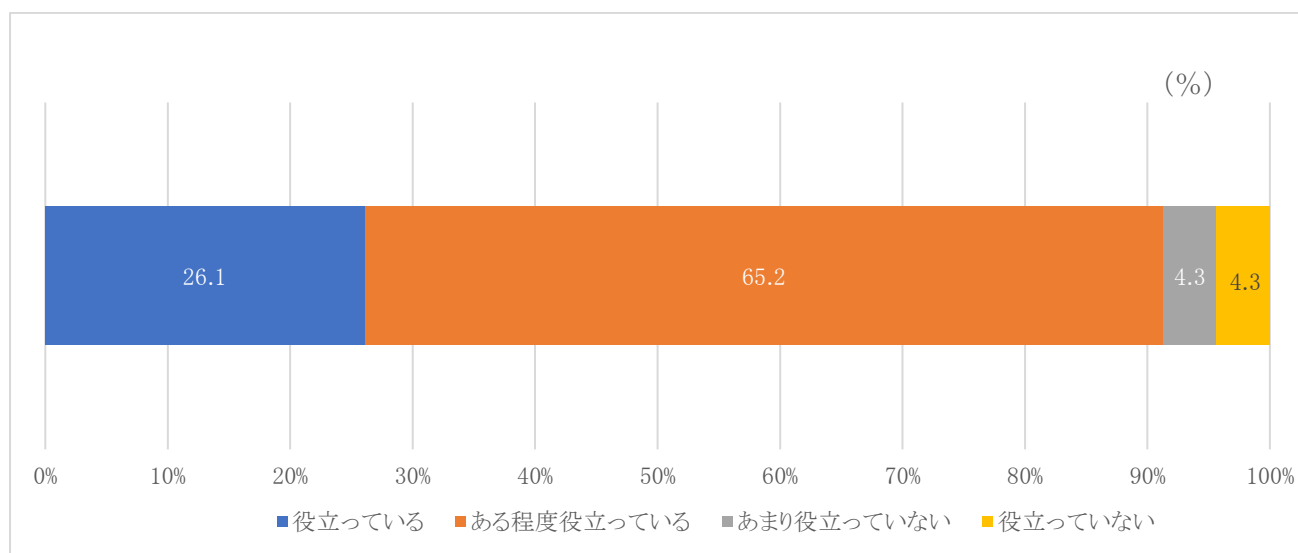
問. 3・4年生で学修した臨床医学科目は、どのくらい役立っていますか。



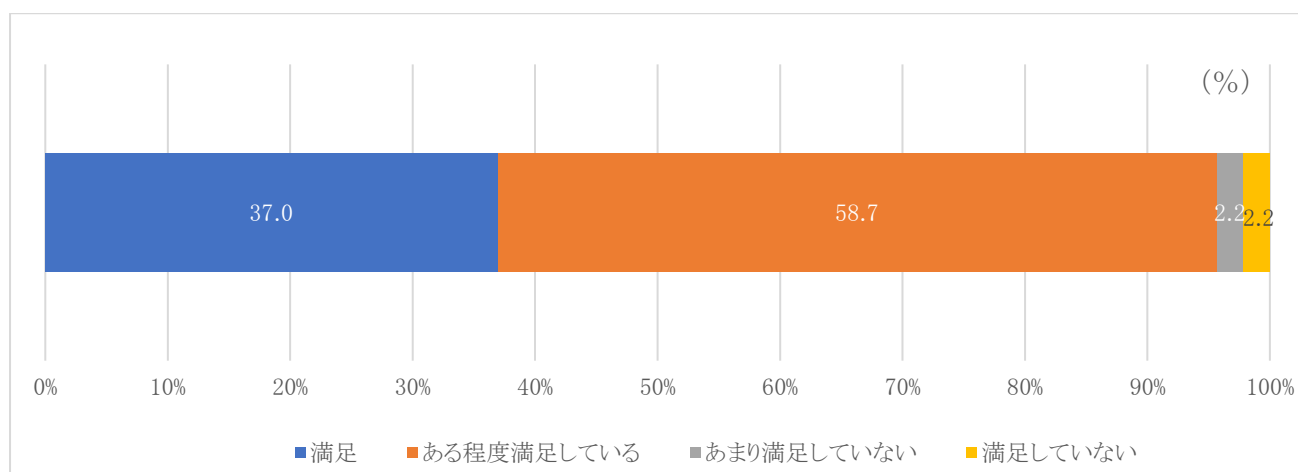
問. 5・6年生で学修した臨床実習（CC、ACC）は、どのくらい役立っていますか。



問. 全体として本学のカリキュラムは役に立っていますか。

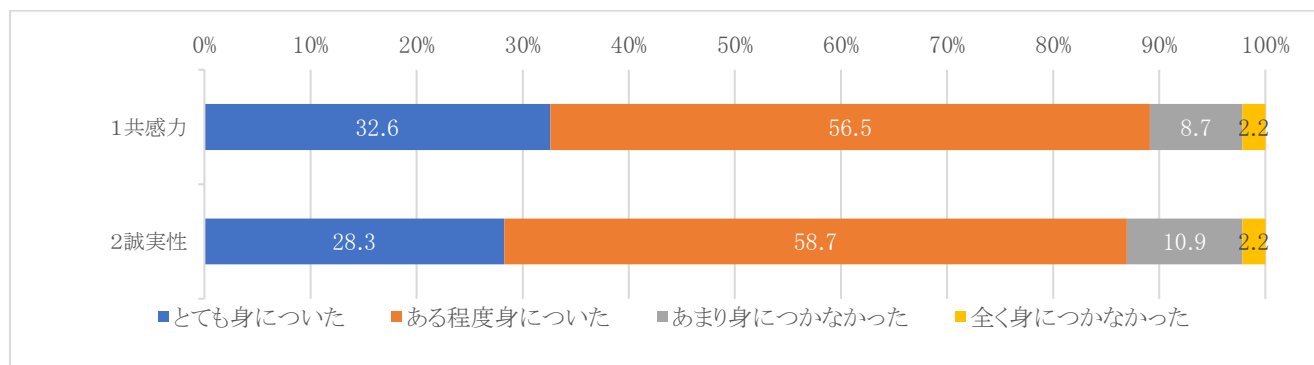


問. 獨協医科大学で学修したことについて満足していますか。

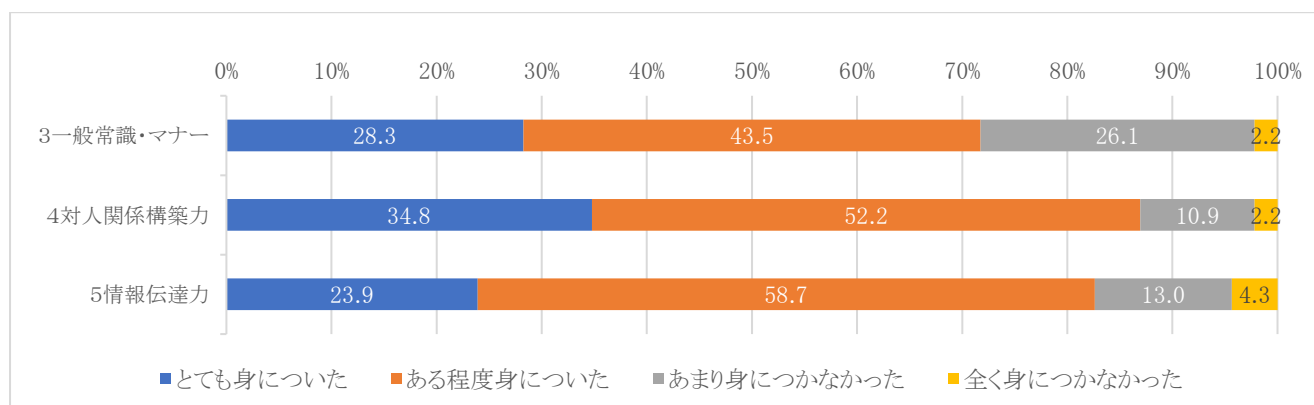


問. 下記の項目について、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか。

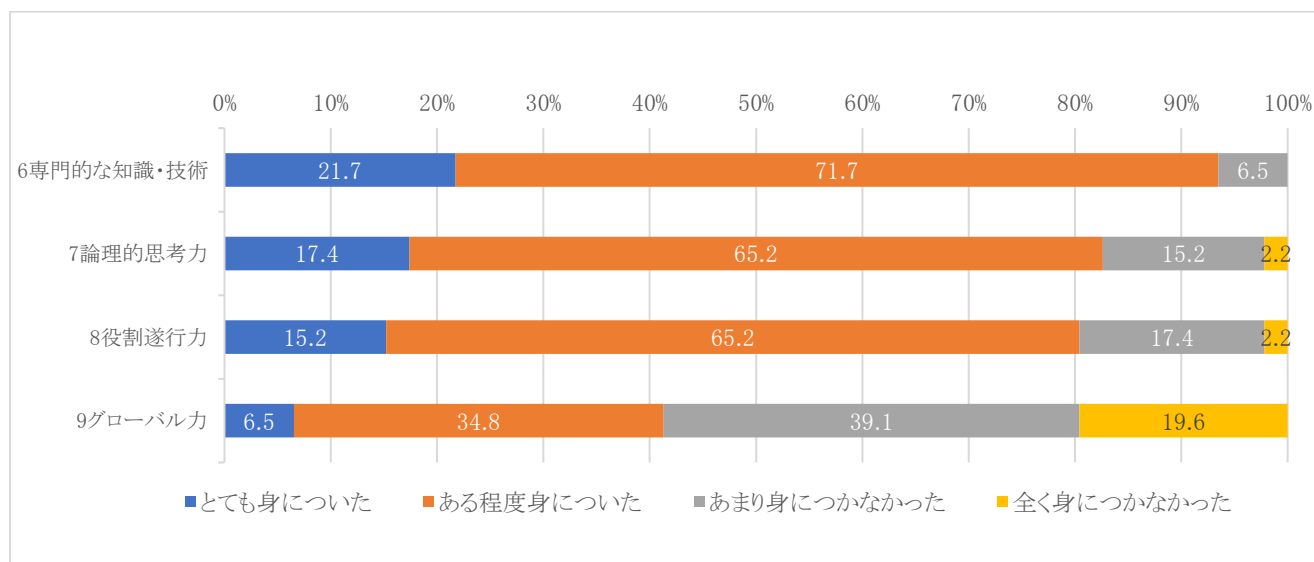
A. 人間性



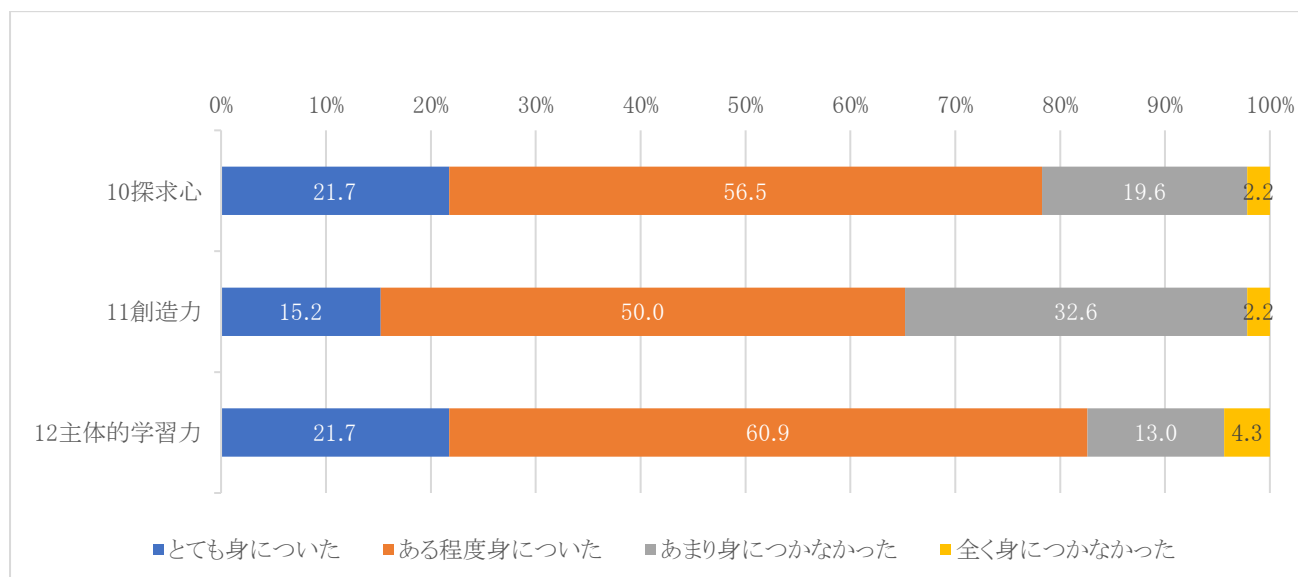
B. コミュニケーション力



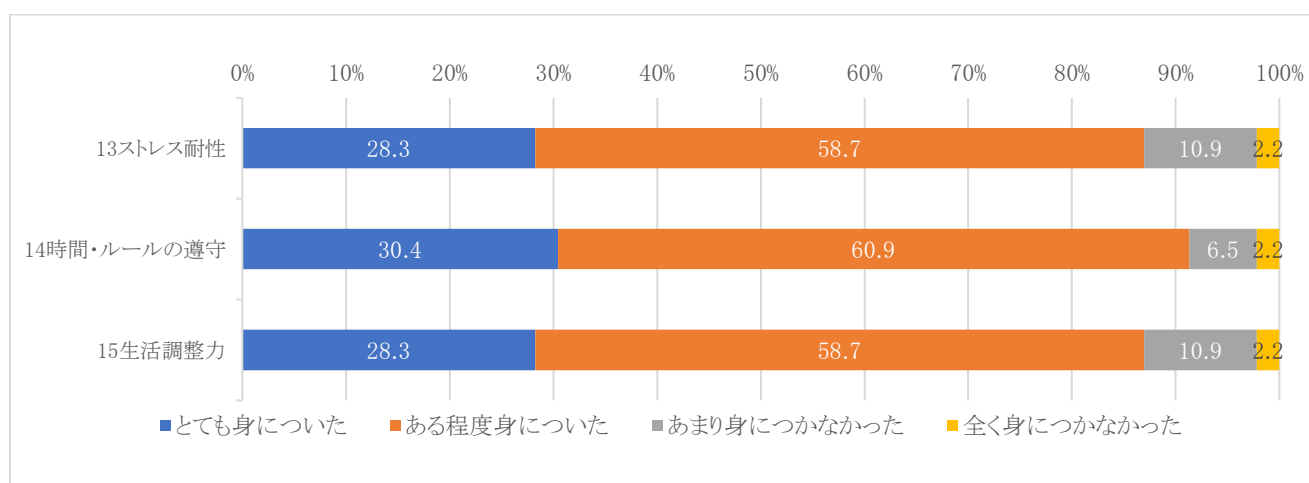
C. プロフェッショナリズム



D. リサーチマインド



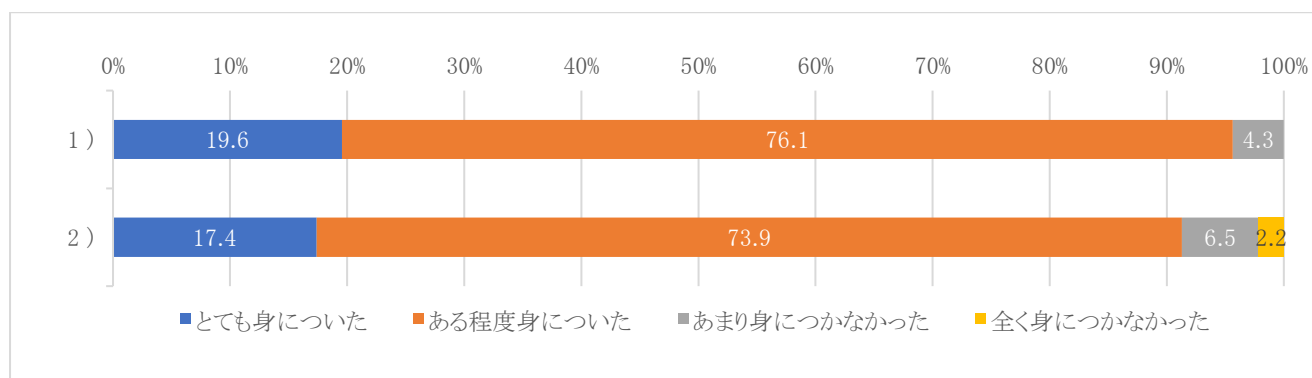
E. 自己管理能力



問. 下記のディプロマ・ポリシーについて、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか。

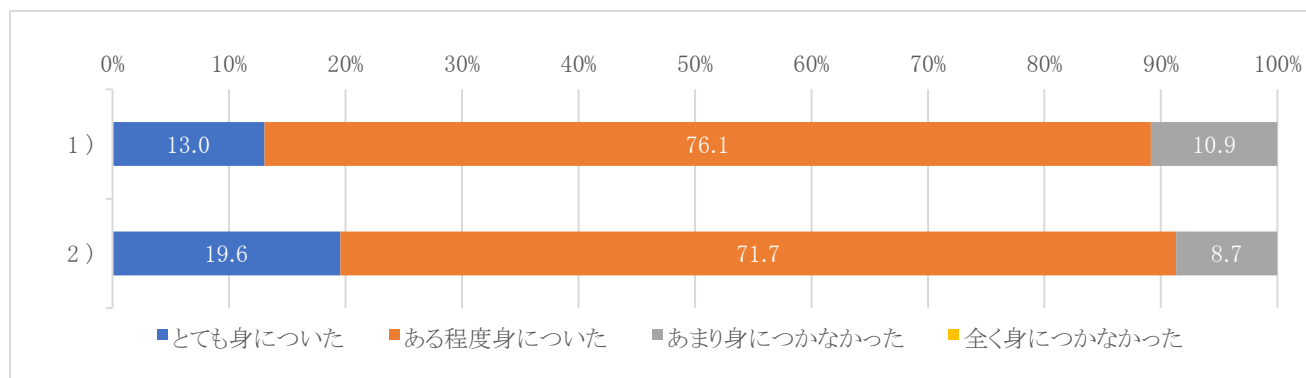
I. 医学知識

- 1) 人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明すること。
- 2) 種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明すること。



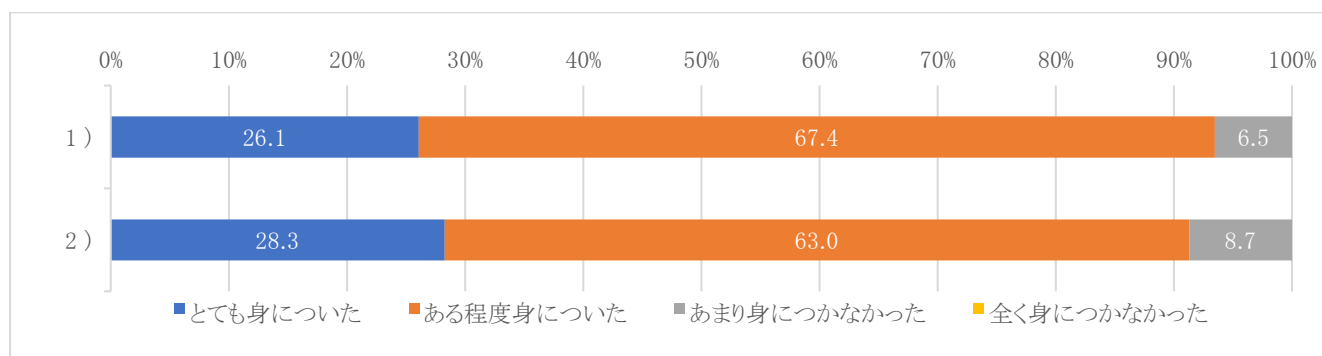
II. 臨床能力

- 1) 卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践すること。
- 2) 医療安全や感染防止に配慮した診療を実践すること。



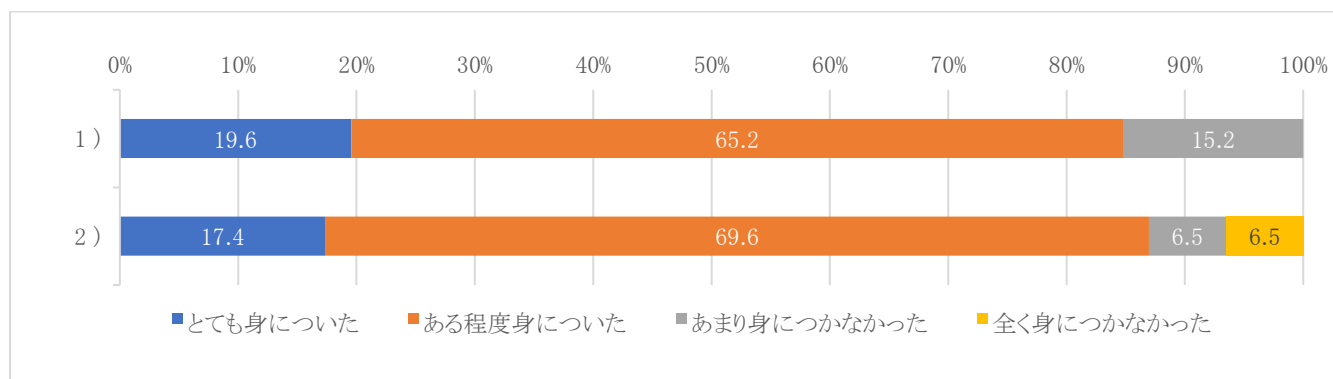
III. プロフェッショナリズム

- 1) 医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践すること。
- 2) 医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築すること。



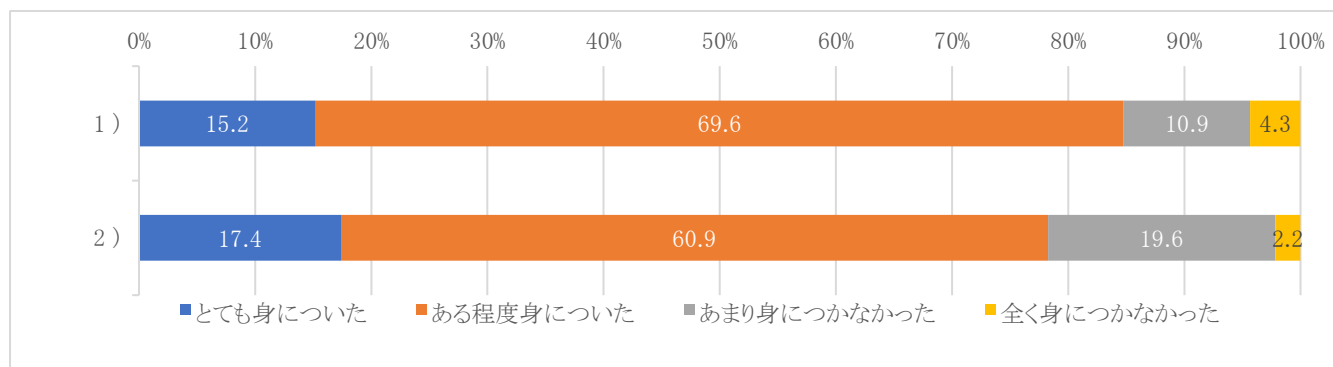
IV. 能動的学習能力

- 1) 医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めること。
- 2) 書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用すること。



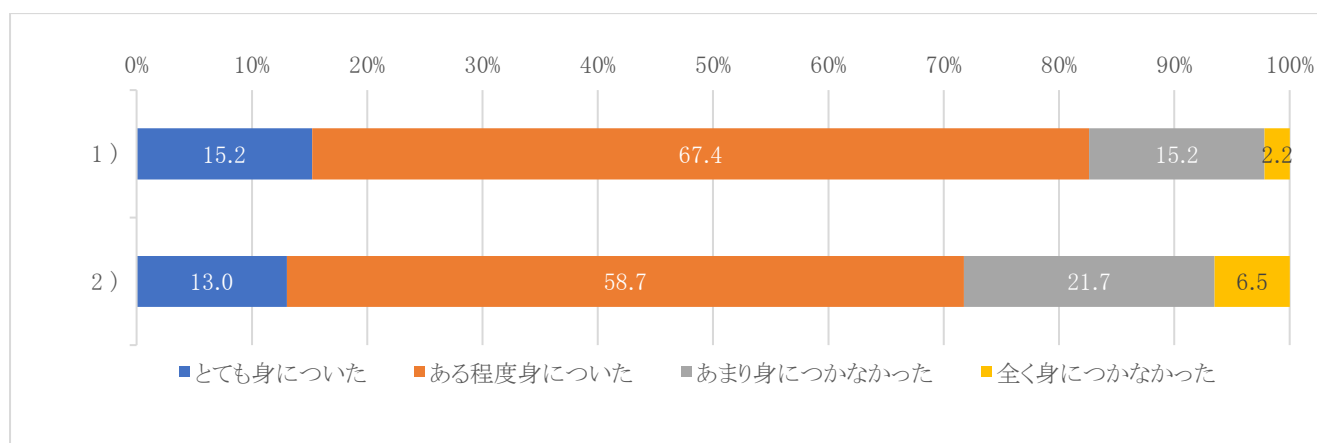
V. リサーチ・マインド

- 1) 最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加すること。
- 2) 自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践すること。



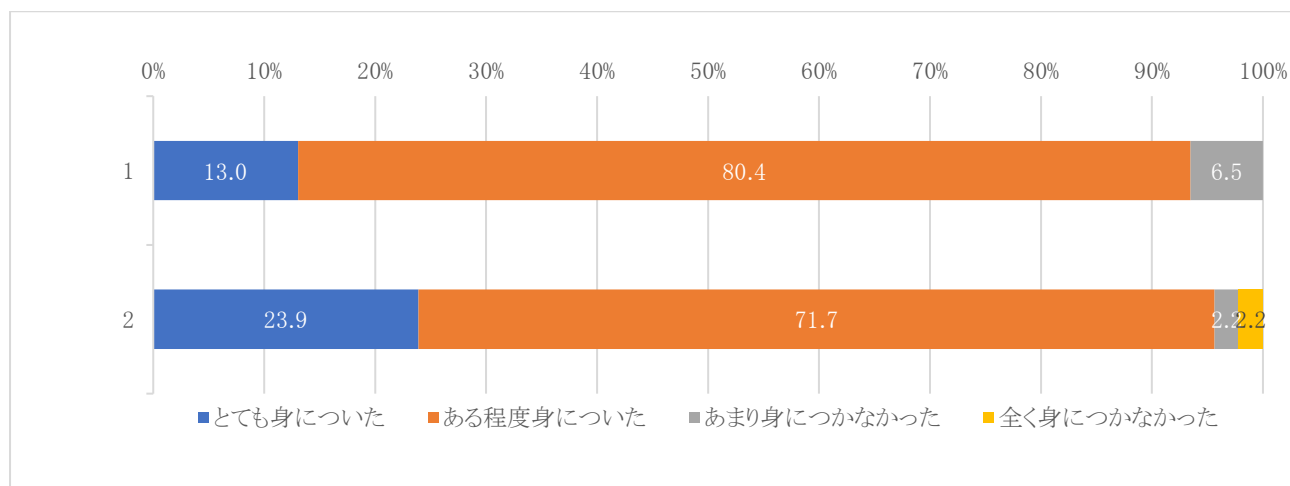
VI. 社会的視野

- 1) 保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させること。
- 2) 医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させること。



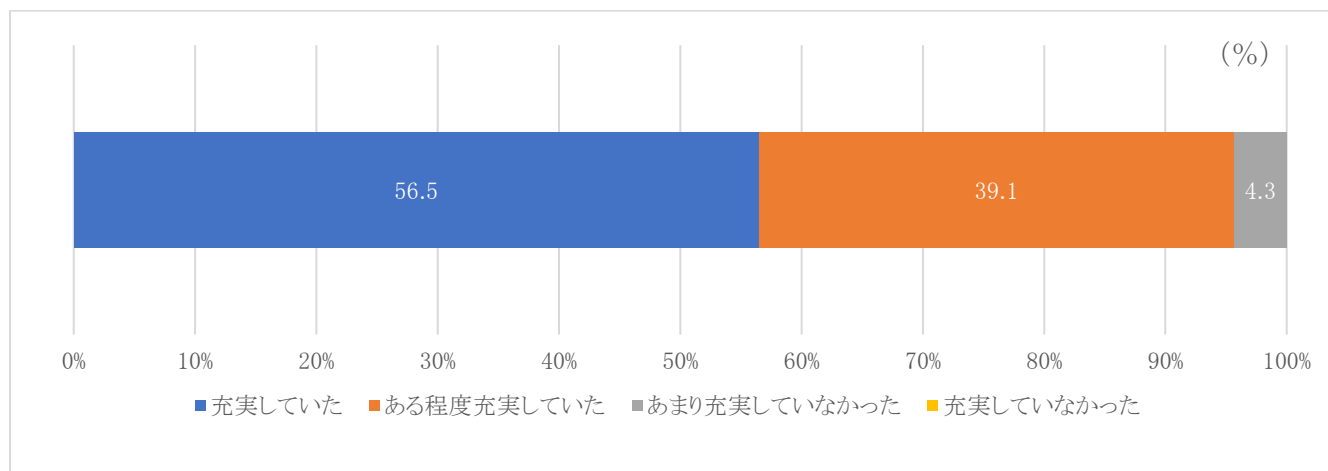
VII. 人間性

- 1) 医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすこと。
- 2) 多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすこと。

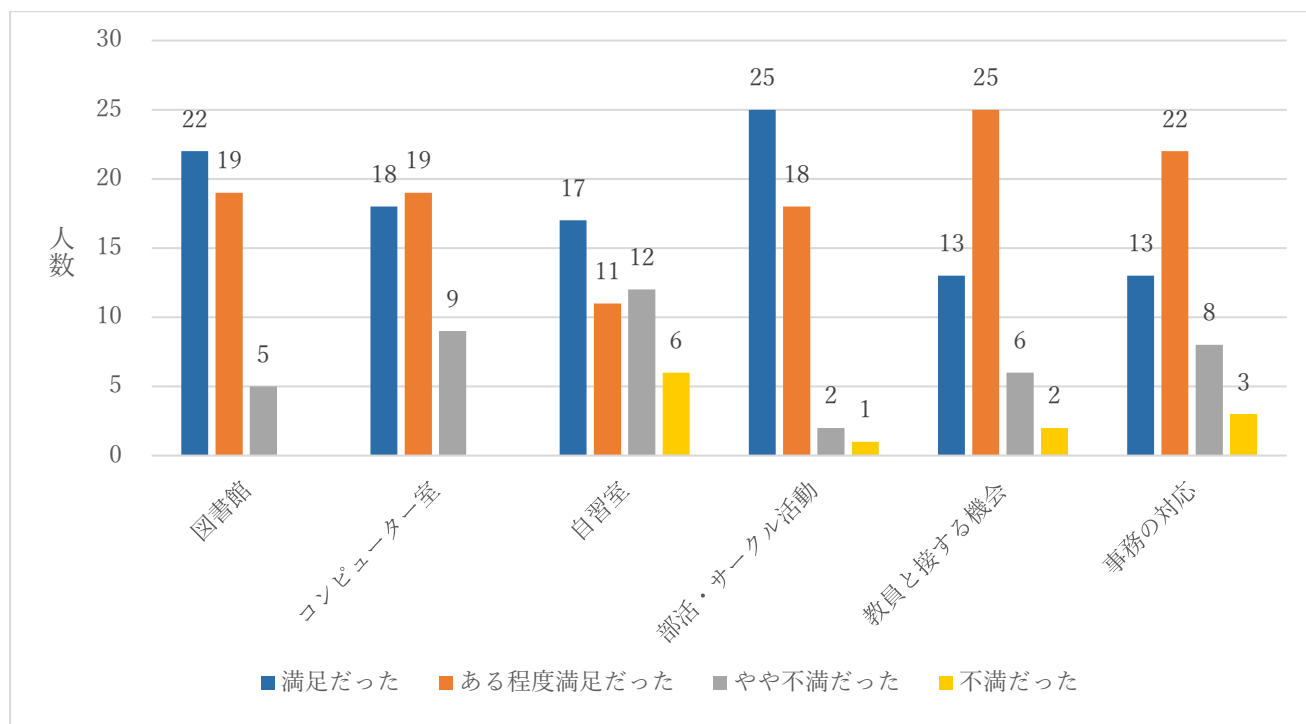


IV. あなたの学生生活について質問します。

問 18. あなたは、6 年間の学生生活は充実していましたか。



問. 獨協医科大学の学生生活支援について最も当てはまるもの。



付録
(質問紙)

令和3年度卒業生対象 卒業生就職先アンケート
(獨協医科大学医学教育の成果に関するアンケート) 調査票【卒業生用】

- 本調査票は令和4年4月から初期臨床研修を行っている本学卒業生にご記入をお願いするものです。
- 回答に要する時間は7～8分程度です。
- 回答は9月26日までをお願いします。
- 本調査は本学IR（教学IRセンター）を中心に実施しており、データ入力等はIRが行います。調査結果はIR以外の本学教職員が卒後の個人の動向を把握できないよう、個人が特定できない形で集計し、教育の質向上や学内外に向けての情報公表に用いることがあります。大学の情報公開・説明責任のため、全体の集計結果については公開予定ですが、個人情報に関連する回答の第三者への開示・提供については一切行わず、個人情報は厳重に管理致します。
- お問い合わせは、獨協医科大学 教学IRセンター（Tel 0282-87-2495）までお願い致します。

I. あなた自身についてお尋ねします。

問1. あなたのお名前をフルネームでご入力ください。

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問2. あなたは、現在の職業に満足していますか。

- a 満足している b ある程度満足している c あまり満足していない d 満足していない

問3. あなたは、現在の職場に満足していますか。

- a 満足している b ある程度満足している c あまり満足していない d 満足していない

問4. 前問で「あまり満足していない」「満足していない」を選択した方に質問します。

その理由を教えてください。

III. 本学の教育およびカリキュラムについて質問します。

問5. 1年生で学修した一般教養科目は、どのくらい役立っていますか。

- a 役立っている b ある程度役立っている c あまり役立っていない d 役立っていない

問6. 2・3年生で学修した基礎医学科目は、どのくらい役立っていますか。

- a 役立っている b ある程度役立っている c あまり役立っていない d 役立っていない

問7. 3・4年生で学修した臨床医学科目は、どのくらい役立っていますか。

- a 役立っている b ある程度役立っている c あまり役立っていない d 役立っていない

問 8. 5・6 年生で学修した臨床実習（CC、ACC）は、どのくらい役立っていますか。

a 役立っている b ある程度役立っている c あまり役立っていない d 役立っていない

問 9. 全体として本学のカリキュラムは役に立っていますか。

a 役立っている b ある程度役立っている c あまり役立っていない d 役立っていない

問 10. 前問で「c あまり役立っていない d 役立っていない」を選択した方に質問します。

その理由を教えてください。

問 11. 大学での講義で最も役に立っているものがありましたらご記入ください。

問 12. 大学在学中に履修した科目のうち、現在の職務を遂行するうえで、教育（授業）内容を改善してほしい科目がありましたらご記入ください。

問 13. 獨協医科大学で学修したことについて満足していますか。

a 満足している b ある程度満足している c あまり満足していない d 満足していない

問 14. 前問で「あまり満足していない」「満足していない」を選択した方に質問します。

その理由を教えてください。

問 15. 下記の項目について、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか。

資質・能力		とても 身についた	ある程度 身についた	あまり身 につかなか った	全く身 につかなか った
A. 人間性	01. 共感力				
	02. 誠実性				
B. コミュニケーション力	03. 一般常識・マナー				
	04. 対人関係構築力				
	05. 情報伝達力				
C. プロフェッショナリズム	06. 専門的な知識・技術				
	07. 論理的思考力				
	08. 役割遂行力				
	09. グローバル力				
D. リサーチマインド (問題解決力)	10. 探求心				
	11. 創造力				
	12. 主体的学習力				
E. 自己管理力	13. ストレス耐性				
	14. 時間・ルールの遵守				
	15. 生活調整力				

問 16. 下記のディプロマ・ポリシーについて、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか。

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	とても 身についた	ある程度 身についた	あまり身に つかなかった	全く身に つかなかった
I. 医学知識				
1) 人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。				
2) 種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。				
II. 臨床能力				
1) 卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。				
2) 医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。				
III. プロフェッショナリズム				
1) 医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。				
2) 医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。				
IV. 能動的学修能力				
1) 医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。				
2) 書籍や種々の資料、情報通信技術 <ICT> などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。				
V. リサーチ・マインド				
1) 最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。				
2) 自らが医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。				
VI. 社会的視野				
1) 保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。				
2) 医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。				
VII. 人間性				
1) 医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。				
2) 多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。				

問 17. 獨協医科大学の教育において、良かったと思う点や改善した方が良い点などございましたら、自由にご記入ください。

IV. あなたの学生生活について質問します。

問 18. あなたは、6 年間の学生生活は充実していましたか。

- a 充実していた b ある程度充実していた c あまり充実していなかった
d 充実していなかった

問 19. 前問で「あまり充実していなかった」「充実していなかった」と答えた方に質問します。

その理由を教えてください。

問 20. 獨協医科大学の学生生活支援について最も当てはまるもののひとつに○をつけてください。

	満足だった	ある程度 満足だった	やや 不満だった	不満だった
図書館				
コンピューター室				
自習室				
部活・サークル活動				
教員と接する機会				
事務の対応				

V. 後輩たちに向けて

問 21. あなたから後輩に向けて何かメッセージはありますか。ありましたらご記入ください。

問 22. 今後の獨協医科大学に向けて一言お願いします。

ご協力いただき、誠に有難うございました。

獨協医科大学医学部教育における成果に関する
アンケート（卒業生に対するアンケート）調査 報告書
〈要約版〉

2022 年 10 月 28 日 発行

獨協医科大学教学IR センター

医学教育点検推進室室長山岸秀嗣